

少年の主張吾妻地区大会

8月21日、中之条町ツインプラザ大ホールにおいて、平成29年度少年の主張吾妻地区大会が開催されました。郡内各中学校の代表が集まり、それぞれが自分の思いを主張しました。本村からは3年生の星野絢瀬さんが『支え合う社会』と題して、素晴らしい発表をしてくれました。その作品をここに紹介します。

支え合う社会

高山中学校 3年 星野 絢瀬



ザク、ザクと雪をかく音が、家の外から聞こえてきました。気になって外を見てみると、近所のおじさんが自家用の大型機械で道路の雪をかいてくれていました。私の住む高山村は、冬になると毎年多くの雪に見舞われます。そのたびに雪かきをしなければなりません。でも、私は自分の家の庭をかくのが精一杯で、誰かの家を手伝おうとか、道路の雪もかこうとかいう気にはなれません。でした。しかし、そのおじさんは、

誰に頼まれたわけでもなく、自ら道路の雪までかいてくれていました。翌日雪のない道を通って通学することができ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。思い返してみると、道の雪がいつの間になくなっていったことは、今までに何度もありました。今回はたまたま私自身が見かけましたが、これまでも地域の誰かが、今回と同じように、雪をかいてくれていたのです。私の生活は、周りの人によって支えられているのだと気付きました。

私たちは毎日の生活の中で、誰かに支えられていると何度感じることもできるでしょうか。私もこの時まで、あまり感じませんでした。ですが、少し探してみると、それは日常生活の中にあふれていました。

私たち中学生は、毎日当たり前のように学校で勉強しています。勉強で使うもの、それは、教科書です。では、教科書を親に買ってもらった記憶のある人はいますか。教科書を見てみると、すべての裏表紙に「これからの日本を担う皆さんへの期待を込め、税金によって無償で支給されています。」と書かれています。教科書は、国の税金で無料提供されているのです。それ以外にも、教室の机やいすなどの備品、校舎の建設費や維持管理費。一人当たり一年間に約百十二万円もの補助金が出ているそうです。私たちの教育は、税金によって支えられているのです。

では、そんな多額の税は誰が納めているのでしょうか。それは、国民一人一人です。私たち中学生でも、買い物をするときには消費税を払っています。ですが、税金は消費税だけではなくありません。所得税、住民税、自動車税など、働いている大人たちが払ってくれています。納められた税金は教育以外に、国民の安全を守る消防や警察、道路、水道の整備といった「国民に役立つ公的サービス」や、福祉などの「助け合いのための活動」に使われています。そんな多額の税は、ひとりの力では納めることができません。つまり、税金はみんなで支え合って生きていくための「会費」なのです。

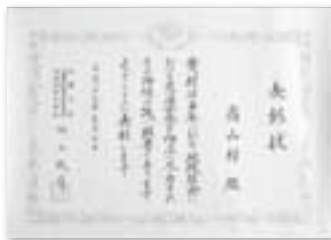
誰かが倒れたら、すぐに救急車を呼べます。火事が起きたら消防車が来てくれます。体を壊して働けなくなったら、社会保障費をもらうことができます。でも、私一人の力では、

急病人が出たときに車で病院に連れていくこともできないし、火事が起きたときに学校を早退して駆けつけることもできません。そのためには、たくさんの方の力が必要なのです。税は、見えない誰かの支えです。そこには「誰かのための思いやり」が隠れていると私は思います。

ですが、それは道路の雪かきのように、目に見えるわけではありません。だから、意識していなければ、忘れてしまいがちです。

私は今まで、「人を助ける」とか「人を思いやる」ということは、身近な人が困っているときに手を貸してあげることだとはばかり思っていました。でも、それだけではありませんでした。社会という集団生活に目を向けてみると、たくさんの方の支え合いがありました。私たちの生活は、多くの人の支え合いで成り立っているのです。ひとりではできないことを、みんなで少しずつ負担しあって助け合う。私は、その支え合いこそが、社会を作っているのだと思います。

まだ中学生の私は、支えられる側でいることが多く、社会の中で誰かを支えるということはなかなかできません。でも、まずは、誰かを思いやることから始めたいと思います。そこから始めて、思いやりの連鎖を作っていきましょう。支え合う社会はそこから生まれるはずだから。



後藤村長から大臣へ謝辞の伝達

9/7

平成29年度交通安全功労者 交通対策本部長表彰 (内閣府表彰)受賞、高山村

高山村は内閣府により本年度の交通安全功労者に選ばれ、9月7日に都内で交通対策本部長表彰(内閣府表彰)を受賞しました。この賞は、交通安全の確保及び交通安全思想の普及に貢献し顕著な功績のあったものに對し贈られるものです。市町村の受賞は全国で4市町村、県内では9年ぶりです。

高山村は、関係機関・地元警察が連携し、村民参加型の幅広い交通安全対策を推進し、高齢者の事故防止対策の実施・村独自の交通安全啓発品の配布等や近年11年村内で交通死亡事故が発生していないことも評価されました。

交通事故は誰でも加害者・被害者になりうることを意識し、これからの交通事故のない笑顔あふれる高山村を守りましょう。

9/1

災害時における物資 等の輸送及び被災者 等の輸送に関する協 定についての調印式 が行われました

村では、災害時における生活の安定を図るため9月1日の防災の日に高山運輸倉庫株式会社 代表取締役社長 都筑雅彦様とゑびすや運輸株式会社 代表取締役社長 大津和仁様に御来庁いただき『災害時における物資等の輸送に関する協定』及び『災害時における被災者等の輸送に関する協定』を締結しました。

この協定は地震・風水害の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に物資等の輸送及び被災者を緊急で輸送することを目的にした協定です。

高山運輸

倉庫株式会社
社様・ゑび
すや運輸株
式会社様に
は快くご承
知いただき
誠に有難う
御座いまし
た。



9/7

軽自動車規格の消防 車が導入されました

9月7日に、消防団幹部及び2分団員が参集し、村議会議員の方々に御列席頂き小型ポンプ付消防車の入魂式が行われました。

今回導入された消防車は軽自動車規格の4人乗りデッキバンタイプで2分団の五領詰所に納車されました。

搭載されている可搬消防ポンプは4ストロークのため騒音が少なく、二酸化炭素の排出量・燃料の消費量も抑えられた最新式で現在使用している可搬式ポンプに比べて遜色無い出力を有しております。

山間部を有する高山村では狭い道、悪路があるため、四輪駆動&コンパクトボディの取り回りの良さを活かして現場に迅速に向かうための消防力として運用していく所存であります。

これから暖房を使用する季節になりますので、各家庭において火の取り扱いには十分注意し、火災を起こさないように気をつけてください。



「高山きゅうり」を多くの方に…

8/11
高山きゅうりPR
イベント開催しました

8月11日、道の駅中山盆地のおもてなしホールに於いて、高山きゅうりの認知度をもっと広めようと、高山きゅうりPRイベントを開催しました。高山村の各施設の栄養士の集まりである高山村ベジフルグループの皆さんと、首都圏の大学生「地域づくりインターンの会」の大学生に協力していただき、高山きゅうりを使用した和え物・冷汁・スティックきゅうり・煮物の試食配布を行いました。ご家庭で高山きゅうりの料理ができるように、それらのレシピも配布しました。

高山きゅうりは高山村でしか栽培されていないので、地元のきゅうりとしてご存知の方も多く、ぬか漬けや塩漬け等さっぱりとした調理方法で召し上がっていただいていると思います。しかし、高山村ベジフルグループ考案の冷汁や煮物も好評で、きゅうりを煮物にする発想に、お客様も驚かれました。

8/30
高山きゅうり試食会

8月30日、高山村の伝統野菜である「高山きゅうりの試食会」が、農家民宿の方や新規就農を目指して現在村で研修中の渡辺姉弟他生産者等約30名が参加し、いぶき会館で開催されました。

村内各施設の栄養士団体「高山村ベジフルグループ」(高橋絹枝会長)に「昨年考案していただき改良を重ねた「高山きゅうり御膳」「高山きゅうりを使ったささみフライ、炊き合わせ、酢の物、浅漬け、冷や汁そうめん、佃煮風、おやき、デザート」が振る舞われました。

試食後のアンケートで「認知度を上げるにはどうしたら良いと思いますか」という質問に「レシピの紹介や村内飲食店での提供が必要」との意見が多く、「ご意見・ご感想」では、「どの品もとても美味しかったです。見た目がとてもきれいで、ささみフライは、食べれば食べるほど癖になります。きゅうりの佃煮風とデザートも美味しく、高山きゅうりでこれだけの品数の料理が出来るのは驚きでした。」と好評でした。高山きゅうりは加熱処理をしても柔らかく美味しいので多くの方に召し上がっていただきたいと思ひます。

レシピを希望される方は、役場農林課(☎63・2111)までお問い合わせください。

8/14
特産品開発事業
試作品を披露!

高山村ベジフルグループと、群馬県立利根実業高等学校と、地域おこし協力隊が、8月14日のふるさと祭りにて、特産品試作品を披露しました。メニューは、ピーツと枝豆を練りこんだ「特産ばかりパン」を142食、人参と果物をすりおろしシロップにした「たかやま高原野菜のかき氷」を300食無料配布しました。いずれも、村で採れた農産物ができるだけ使用しました。お客様からは、「色が鮮やか!」「美味しい!」「甘さも丁度いい!」等ご感想を頂きました。今年4月から、3者で打ち合わせを始め、毎月1回以上集まり会議や試作を重ね、今回の披露に至りました。

9月からは、秋冬に合ったせんざいやうどんなどの開発に取り組んでいく予定です。



農山村体験の受け入れをしました

8/7~18

地域づくり インターンの会2017

今年も首都圏の大学生が5人、村にやって来ました。8月7日〜18日までの12日間、農作業をはじめ、ふるさと祭りの用意・当日手伝いをしたり、おまんじゅうやこんにやく作り体験をしたり、高山きゅうりのPRイベントを盛り上げてくれたりと、活動を通して村の事を知ってもらいました。

「農作業体験をしたことで食の大切さを知った」「花がいっぱい植わっていてゴミが落ちていない」等素直な感想を述べてくれました。

最後には、活動報告として「若いカップルを呼び込め！高山村」と題して、学生ならではの高山村のPR方法を提言してくれ、私たちに多くの気付きを与えてくれました。

今回の地域づくりインターンの会の受け入れにご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



8/29~9/2

若葉のふるさと 協力隊来村

若葉のふるさと協力隊とは…

現役の緑のふるさと協力隊がコーディネーターになり、様々な体験を通して高山村の魅力を伝えるプログラムです。

8月29日から5日間、5名の大学生が来村し、農作業体験や郷土料理作り、座禅などを体験しました。

初めて訪れた高山村への第一声は「緑がいっぱい！」と車窓からでも写真を撮っていました。農作業体験をやってみたくて希望してくれた参加者達は、それぞれが初めての体験に戸惑いと喜びを感じているようでした。

そして、高山村へ来て一番感じたことは迎えてくださった方の温かさ、たった5日間でも吸収できるものが多かったようです。

今回の短期プログラムに御協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



9/1

高山幼稚園夏まつり 〜晴天の下、盛大に行われました〜

夏休みが明けて間もない9月1日(金)、園庭で「夏まつり」を行いました。本年度はPTAが主体となり、実行委員会を立ち上げて一学期から準備を始めてきました。保護者の皆様の時間と労力を惜しまない姿勢、団結力、そして、知恵を出し合い、祭りを盛り上げようとする思いが実を結び、子どもたちが笑顔で楽しめる祭となりました。例年の出し物に加えて、「昔の遊び」コーナーを設置し、保護者が講師となって教えている姿がたいへんほほえましかったです。昼食は、園児が育てたじゃがいもを使ったカレーライスを親子で味わって食べました。半日ですが、充実した体験ができました。

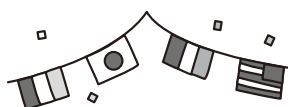


声援が響きわたりました

9/4 高山中学校 体育大会



9/9 高山小学校 大運動会



高山村の歳時記

伝統行事で舞と太々神楽の奉納が行われました。

8/27 役原獅子



9/1 中山神社太々神楽



9/12

NIPPON おもてなし専門学校高山校 避難訓練・交通安全教室

9月12日(火)NIPPONおもてなし専門学校高山校で避難訓練と交通安全教室が行われました。

当日、来校していた14名の生徒は、他でも避難訓練を経験していた生徒もいたようで、ベルが鳴って庭に出るまでしっかりと指示に従って集合できていました。吾妻消防本部の署員に消火器の使い方を教えていただき、消火訓練をした後、吾妻警察署の警察官による交通安全教室も行われ、生徒のみなさんは真剣に聞き入っていました。

